

ゆやの子わいわいスナップ！



くらすめ～る

学級通信 油谷小学校3年1組

担任：重田秀之先生
児童：22名

長なわチャンピオンに
なりたいたいな

「ようし、いくよ。せえの、いいち、いい、さあん。」
「なかなか続かないなあ。」
「いいち、いい、さあん、……じゅうし。」
「あああ、失敗した。」
「そんなこと言うなよ。かわいそうじゃないか。」
長なわは、みんなの気持ち一つにならないとなかなか続かないものです。失敗した人を責めるような雰囲気があると、失敗を恐れてしまっ、余計うまくいかなくなってしまうのです。



油谷小では、毎年なわとび大会で学級対抗の長なわをしています。先日、初めて学級で長なわをしました。二年生までのルールと違って、少し難しくなったのか、なかなかうまく続きません。そんな時にも、失敗した人をかばう思いやりがあるのが、この学級の子供達の良いところです。
「次は、一王回続くといいね。」
「ようし、今度みんなで遊ぶ日は、長なわをやるうね。」
「長なわチャンピオンになれるかもね……。」

生涯学習



油谷朗吟会伊上支部

毎月一回夜七時から伊上公民館で詩吟の練習をされているのは、油谷朗吟会伊上支部のみなさん（代表 田上順久さん）。

昭和五十五年にできたこの会は昨年で十五周年を迎えたということ、現在会員は八名。伊上支部とは違うもの人丸や長門市からも参加されています。油谷町文化祭の芸能発表会などで自慢の喉を披露されています。

詩吟はご存じのとおり漢詩に節をつけてうたうもの。たくさん流派がある中で、この会は鴻峯流です。吉田松陰の精神を心としており、吟じ

る漢詩も明治維新頃の長州出身者のものが多いとか。
「女性はふだん大きな声を出せないけれど、ここでは思いきり大きい声が出せるのがいいですね。ほけ防止にもなりますし。」
「腹から声を出さないと詩吟になりません。腹式呼吸になるので健康にもいいですよ。」とみなさん。

興味のある方はどなたでも大歓迎ということです。みなさんも詩吟の世界を楽しんでみてはいかがでしょう。か。会費は月二千五百円です。

申込・問合せ ■田上順久（宮ノ馬場） ☎32・0287



▲油谷朗吟会伊上支部のみなさん。
▼練習のようす。 ▼芸能発表会で。

